

## 第八講 初期のスパルタ史

初期スパルタ史は文献史料を重視する伝統的歴史学と考古学的所見の融合の上に成り立っている。文献史料の多くは神話や伝承という分野に属するものであり、最終的な形にまとめられるのはローマ帝政期に入ってからである。パウサニアスやプルタルコスなどがその例である。また古典期のギリシア人のスパルタの初期の歴史に強い関心を寄せ、ヘロドトスやアリストテレスがヘラクレイダイの帰還やリュクルゴスを中心にまとめられている。しかしその多くは外国人が著わしたものであったり、後世のものであったり、内部の人間が書きとめたものでなく、同時代にさかのぼれるものでもないということに着目する必要がある。またリュクルゴスの制度にしても、前2世紀の廃止に伴い制度の中身に関する知識が失われてしまっていることも注意しておく必要がある。

### 神話と伝承

ヘラクレイダイ（ヘラクレス家）の帰還とドーリス人の移住（トロヤ戦争後 80 年：

トゥキュディデス、第 1 巻 12 節）

ペロポネソスの三分割：アルゴリス・ラコニア・メッセニア

征服：征服者の領主化と先住民のヘイロタイ（不自由隷属農民）

### 双子伝説と二王政

アリストデモス ┌ エウリュステネスーアギス・・・・  
└ プロクレスーエウリュポン・・・・

### 王家の系譜の信憑性

1 代 30 年、3 代 100 年という計算式が基礎となっている。

アギス家 15 代 440 年 約 30 年	エウリュポン家 15 代 404 年 約 27 年
(アギス 1 世 前 930 - 900 年)	(エウリュポン 前 895 - 965 年)
(エケストラトス 前 900 - 870 年)	(プリュタニス 前 865 - 835 年)
(レオボタス 前 870 - 840 年)	(ポリュデクテス 前 835 - 805 年)
(ドリュツソス 前 840 - 815 年)	(エウノモス 前 805 - 775 年)
(アゲシラオス 1 世 前 815 - 785 年)	カッリロス 前 775 - 750 年頃
アルケラオス 前 785 - 760 年頃	ニカンドロス 前 750 - 720 年頃
テレクロス 前 760 - 740 年頃	テオポンポス 前 720 - 675 年頃
アルカメネス 前 740 - 700 年頃	アナクサンドリダス 1 世 前 675 - 660 年頃
ポリュドロス 前 700 - 665 年頃	アルキダモス 1 世 前 660 - 645 年頃

エウリュクラテス 前 665 - 640 年頃	アナクシラス 前 645 - 625 年頃
アナクサンドロス 前 640 - 615 年頃	レオテュキダス 前 625 - 600 年頃
エウリュクラティダス	ヒッポクラティダス
前 615 - 590 年頃	前 600 - 575 年頃
レオン 前 590 - 560 年頃	アガシクレス 前 575 - 550 年頃
アナクサンドリダス 2 世 前 560 - 520 年頃	アリストン 前 550 - 515 年頃
クレオメネス 1 世 前 520 - 490 年頃	デマラトス 前 515 - 491 年頃

(W. G. Forrest, *A History of Sparta 950-192 B.C.*, London, 1968, p.21)

平均 30 年という在位期間は不自然なほど長いように思われる。比較の為に徳川幕府の将軍在位年数を挙げておく。

徳川幕府 (1603 年～1868 年 15 代 265 年 1 代平均 17.6 年)

最短：徳川慶喜 15 代 1867～1868 年 1 年

最長：徳川家斉 11 代 1787～1837 年 50 年

直系は続かない

家康～家綱：4 代

綱吉：1 代

家宣～家継：2 代

吉宗～家定：6 代

幼児死亡率の高さ

家慶：14 男 13 女。成人まで生き残ったのは家定のみ。

一代平均 18 年足らずの将軍在位に比べてスパルタ王の在位は不自然なまでに引き伸ばされている。直系親族間の王位継承の問題や幼児死亡率の高さを勘案すると先に挙げた時代設定は信憑性に欠けるものであることは言うまでもない。

ドーリス人の移動に関する疑問

ピュロス文書に do-ri-je-we<Δωριεύς (ドーリエウス/ドーリス人) の与格線文字 B との近似性

**Korwos/korwa** ⇌ **koros/kora**

ドーリス方言：第二音節の w 音の脱落→第一音節の位置による長母音 (o オ) が長母音化 (オー) = 長母音を維持、第二音節の短母音 (o/a オ/ア) は維持

イオニア方言：w音の脱落→第一母音の複母音化（o オ>ou ウー）及び第二母音の音韻変化と長母音化（e エー）。

メッセニアの文化的先進性

メッセニアとラコニアの方言差は非常に少ない

スパルタの起源は遅いのかも？

伝承によるスパルタの起源（前 10 世紀）はアテナイに比べて早すぎる

PG 出現：前 850 年

LG 出現：前 750 年

プロトジオメトリック様式の出現ではなく後期ジオメトリック様式の出現を基準とするなら・・・前 750 年

ラコニア

ー前 1050 年 LHIIC

ー前 850 年 考古学層の欠如

前 850 年ー PG

前 750 年ー LG

メッセニア

ー前 1050 年 LHIIC

ー前 950 年 考古学層の欠如

前 950 年ー PG

前 750 年ー LG

考古学層の欠如をどう考えるのか

住民層の欠如か物差しの問題なのか?→アテナイ基準の修正の要

暗黒時代を通じての人と物の流通頻度やペロポネソス半島の深奥部という事情を勘案してアッティカやアルゴリスのように LHIIC→SM→PG→EG→MG→LG と秩序的に出てくるのではなく、LHIIC→PG→LG という並びでも連続的に出て来るとあると理解したらどうなるのか。

前 10 世紀にドーリス人が無人のラコニアに移住したわけではなく、外の世界から、或は周辺から移住したわけでもなくそこに人は居たし、居住し続けたのだと考えることも可能なのだろう。

スパルタというポリスの形成

アクロポリス近く PG 期（前 850 年頃）：ピタネ村、メソア村の形成・・・第一集  
団・・・アギス家

エウロタス川近く PG 期（前 750 年頃）：リムナイ村、コノウラ村の形成・・・第  
二集団・・・エウリュポン家

墓地の違い

アギス家・・・アクロポリス、ピタネ付近  
兄系

エウリュポン家・・・アクロポリスより東、リムナイないしはコノウラに  
弟系

アルテミス・オルティア（リムナイに建設）をめぐる二集団間の争い

LG 期（前 700 年頃）に両集団の和解と統合

平等の扱いと権利

両王家を疑似兄弟化

長老会や民会、役職の共有

統合のための伝承の創作

アリストデモスの双子

妃が赤子を湯あみさせる順番・・・兄弟関係の決定→エウリュポン家とそ  
の住民のスパルタ国家への統合